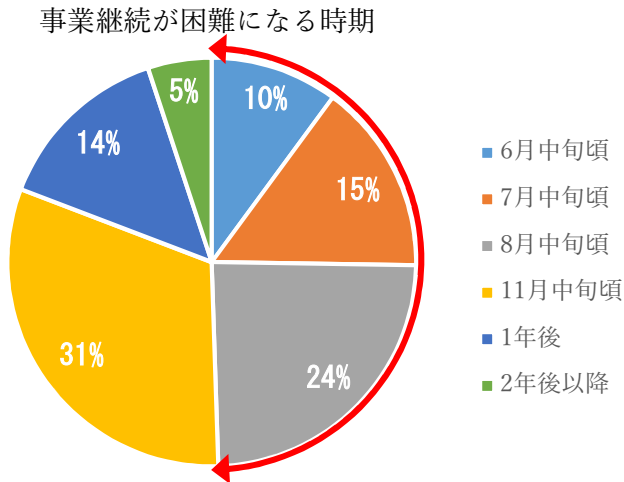


路線バスの維持に向けた対策について

1 現状と課題

(全国) ※出典:一般社団法人 日本モビリティ・マネジメント 4 月会議資料

- 4 月時点で公共交通は「6 割～9 割」の利用縮小。推定損失は年間最小 3.5 兆円～最大 8.3 兆円
- 現在の状況が続いた場合、8 月末までに交通事業者の半数が倒産危機



バス・タクシー事業者の倒産解雇の
8 月末までの可能性

- バス事業者 : 1,000 事業者
42,000 人
- タクシー事業者 : 3,400 事業者
172,000 人

(鳥取県東部地区バス事業の状況 ※バス事業者:日ノ丸自動車、日本交通)

■バス運賃収入の対前年比

	3月	4月	5月
乗合バス事業	100.8%	82.2%	62.7%
高速バス事業	47.9%	11.9%	2.9%
貸切バス事業	13.9%	6.8%	9.4%



- 乗合バス事業(路線バス)は、収益率の低い事業であるが、公益性・公共性の高さから、国や地方自治体による運行補助により、また、高速バスや貸切バス等の収益を基にした事業者の内部補助により支えられている。
- 路線バスは大幅に減収しており、また、高速バスや貸切バスは運休等により皆無に近い状況。
- 公共交通事業者は現金商売。会社に余力がないと、不足のキャッシュを補うことができない。

交通崩壊による、社会崩壊の危機に直面している。

- 交通は血液。交通が止まると、医療・福祉・教育・観光等、まちづくり・財政全般に甚大な影響が生じる。

交通崩壊を防ぐ対策が必要

交通事業者に対し、早急な経済的支援を行う。

2 路線バス事業存続のための鳥取市の取組(参考)

(1) 運行継続に必要な経費支援

- 運行継続に必要な経費見込み額: 約 4 億円(令和元年度: 市補助金額 約 2 億 6 千万円)
- 既存のバス路線維持対策補助金制度の改正(概算払い可能、補助率 10/10)
- 地方創生臨時交付金を活用した経済的支援策(7 月臨時議会)
 - ・ 路線バス事業者に対し、路線バス運行継続緊急支援金(1 系統 2,000 千円)の交付(8 月中)
 - 事業費: 220,000 千円

(2) 利用回復に向けた取組

① 感染拡大防止対策の支援

- バス事業者、タクシー事業者、バスターミナルに対して、感染拡大防止対策に要する経費を支援
- 地方創生臨時交付金を活用(6 月議会) 事業費: 2,750 千円
 - ・ バスターミナル 150 千円
 - ・ バス車両 10 千円/台
 - ・ タクシー車両 5 千円/台

② 公共交通利用促進キャンペーンの事業費支援

- 日ノ丸自動車、日本交通、県バス協会、鳥取バスフェスタ実行委員会、麒麟のまち DMO で組織する「麒麟のまち公共交通利用促進協議会(仮称)」が実施する「公共交通利用促進キャンペーン」の事業費を支援(補助率 10/10)
- 地方創生臨時交付金を活用(7 月臨時議会) 事業費: 5,280 千円

③ 麒麟のまち「ノルデ運動」(ノーマイカー通勤)の実施

- 実施期間: 令和 2 年度 9 月～令和 3 年 3 月
- 実施内容: 普段マイカー通勤の方で週 1 回以上公共交通機関を利用して通勤する者、または通勤手当の受給者(JR、バス、自転車)に対し「ノルデカード」を交付。

(参考) 令和元年度実績: 参加者数: 1,419 人 事業所数: 24

■ 参加特典

- ・ 毎週金曜日は路線バスを運賃半額で利用可能
- ・ 飲食店等の協賛店舗の割引サービスを提供



昨年度の PR チラシ

④ 麒麟のまち公共交通フェスタの開催

- 実施時期: 令和 2 年度 10 月(予定)
- 実施内容
 - ・ 公共交通の利用回復に向け、安全・安心な利用環境の情報発信
 - ・ 上記②のキャンペーンと連動させ、公共交通を利用した“圏域の楽しみ方”を情報発信
- (参考) 令和元年度実績: 会場: 市役所駐車場 参加者数 約 3 千人
- 実施主体: バスフェスタ実行委員会

構成メンバー: 鳥取商工会議所青年部、交通事業者、行政



昨年度の PR チラシ

公共交通利用促進支援事業（新型コロナ対策）

令和2年7月臨時補正

担当課：交通政策課

公共交通の新たな利用者を獲得するためには、

- ①自家用車と同等な利便性の確保⇒増便やキャッシュレス化などの環境整備（中長期的な取組）
- ②利用する目的を提供する⇒乗ることの“楽しみ”を提供

**県外への旅行ができない今だからこそ、
家族と一緒に公共交通に乗って、「麒麟のまち」を旅しよう！！**

1 事業内容

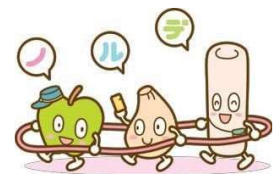
日ノ丸自動車、日本交通、バス協会、麒麟のまち DMO で組織する団体が主体となって実施する「公共交通利用促進キャンペーン」に対して、開催費用を支援する。
(10/10 補助)



2 キャンペーン内容

路線バス、若桜鉄道等を利用して、麒麟のまち圏域の観光施設を巡るスタンプラリーを実施する。集めたスタンプの数に応じて、豪華賞品を抽選でプレゼント。

- 実施期間：令和2年8月（夏休み）～11月（秋の行楽シーズン）
- スタンプカード設置場所：路線バスなどの車内（乗車しないと参加できない）
- スタンプ設置場所：麒麟のまち圏域の各観光施設等
- 抽選商品：インターネットショップ「とっとり市」の買い物ポイント、宿泊施設・飲食店等の利用券、路線バス、くる梨の回数券など
- メインターゲット：ファミリー層
- 参加目標数：5千人



3 事業効果

- 公共交通、観光施設等の利用回復
- 公共交通の新たな利用者（ファン）の獲得



4 事業費 5,280千円

(内訳)

- ・PR 経費 1,100 千円（チラシ・ポスター・新聞折込等）
- ・スタンプラリー経費 3,080 千円（商品代金、スタンプカード等）
- ・事務局運営費 1,100 千円